

～サイズ選別を強化し、サバ等青魚の食用化率及び付加価値を向上～  
**有限会社マルイチ水産八戸（青森県八戸市）**

目詰まりの現状

八戸港の総水揚げ量の4割を占めるサバは、サイズや量の変動が激しく、近年は小型サイズの水揚げが増加したことで、小型サイズの付加価値向上が求められている。そのためにはまず、サイズを細かく分類し、選別選別精度を強化する必要があるのだが、既存のローラー選別機は精度が低く、2回作業を行う等作業時間が増えるだけでなく、鮮度の低下も生じており、販売先からの注文に対応できていない状況である。

プロジェクトの概要

- 新たにローラー選別機を導入し、選別精度及び処理量の向上を図った。
- 選別区分の見直しを図り、使用用途を明確にするとともに、選別精度の高さや鮮度の良さをアピールした販売展開に取り組んだ。
- 選別作業の時間短縮に取組み、自社便の配送可能エリアの拡大を図った。

取組による成果

- ローラーの長さが伸び、ローラー幅も調整可能になったことで調整選別精度が向上、200gから500gのサイズ帯において100g単位での設定が可能になり、使用用途を明確にした販売展開が可能に。
- 選別作業時間が短縮され、より高鮮度な水産物が提供でき、従業員の作業環境も改善。
- 作業内容が明確でシンプルになり、従業員の身体への負担も軽減されたことで、高齢者や未経験者の雇用が促進。

プロジェクトフロー

八戸港で水揚げされるサバ

選別に時間を要するため鮮度低下を招いている

・サバが年々小型化し、従来食用向けとしていた250g以上の水揚げが減少している。  
 ・小型サイズの付加価値向上のため、サイズ区分を細かく設定するも、選別精度が低いため商品価値が上がらない。

・選別機を導入し、選別精度の向上を図るとともに、新たなサイズ区分を設定した。  
 ・選別作業時間の短縮に取組み、当日の自社便配送が可能なエリアの拡大を図った。

選別精度向上

小型サイズの販路拡大

水産加工業者  
 商社等

配送エリア拡大

労働環境改善

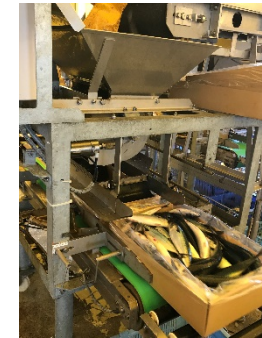
高精度選別



選別作業



高精度選別商品



水揚げされたサバ



(平成31年3月現在)